



福岡ひびき信用金庫の特権ユーザ管理

CryptoAuditor によるリモートからの管理者のアクセスの監視、コントロール及び監査

福岡ひびき信用金庫は、Windows サーバにアクセスするリモート管理者のアクセスをコントロールするソリューションで、信頼がおけ、拡張性が高くコスト効率に優れた特権ID管理システムを探していました。同社は、SSH コミュニケーションズ・セキュリティ社の CryptoAuditor でこれを確実に達成できるという結論に達しました。

福岡ひびき信用金庫様 概要

- 本店：福岡県北九州市
店舗数：49店舗（内代理店1店舗含む）
従業員数約611人、預金積金残高 6,549億円
- 信用金庫法に基づく金融サービスの提供
- 域内の中小企業及び個人への金融サービスの提供



背景

福岡ひびき信用金庫は、福岡県一円を事業区域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。これら業務をコンプライアンスに基づき高いセキュリティ・レベルで運用するために、同信用金庫では Windows サーバにリモートからアクセスする管理者権限を有するユーザ（特権ユーザ）を監視しコントロールすることを可能とする、安全でコスト効率に優れたソリューションを求めていました。同信用金庫ではリモートからの特権ユーザアクセスは、信用金庫内の管理者や委託企業の作業者が行います。業務の正当性や事後確認の為にその操作を監視し証跡として記録する必要がありました。

同信用金庫では特権ユーザがアクセスを行う際には、金庫内のサーバにリモートからリモートデスクトップ接続（RDP）で通信を行います。RDP 接続は暗号化されているため、このリモートからのアクセスを監視することができませんでした。同信用金庫の最も重要な要求は、RDP が提供する通信のセキュリティは維持しながら、特権ユーザが行う操作を監視し、コントロールし、そして記録できるようにすることでした。

ソリューションの選択基準

福岡ひびき信用金庫は、特権 ID 管理ソリューションの選択に将来を見据えたアプローチを取りました。まず、必要とされるソリューションにはセッションを追跡し、記録する機能が必要でした。また、同信用金庫では直面する問題に対し、コスト効率に優れ、質の高いソリューションを求める一方で、採用するソリューションが将来発生する要求にも確実に対応でき、この投資が陳腐化しないことも重視していました。具体的には、RDP 以外の暗号通信を監視制御することに加え、データ漏洩防止（DLP）ソリューションとの連携による漏洩強化にも対応できるソリューションを検討対象としていました。昨今のクラウドサービスへの移行トレンドも十分視野に入れており、クラウドへの対応が可能かどうかも考慮の対象でした。さらに、金融業界では今後もより多くのコントロールとコンプライアンスの達成が要求されるため、法令・規制としてまだ要求されていないが、近い将来課題となり得る部分への対策も併せて必要としていました。

また、暗号通信への可視性は非常に重要だと考える一方で、大規模なクライアントやサーバへのエージェントの実装や負担のかかるユーザー・トレーニングを必要とするソリューションを避けたいとも考えていました。



「CryptoAuditorを展開することで、共有アカウントの使用をやめることができました。また、重要なシステム上にあるパスワードを隠蔽することもできました。

同ソリューションのおかげで、セキュリティ・レベルが確実に向上しました。」

福岡ひびき信用金庫
吉田篤史 グループ長

ソリューション

同信用金庫では、SSH コミュニケーションズ・セキュリティ社の CryptoAuditor を選択しました。本ソリューションは日本国内代理店を通じて販売・展開されました。顧客と代理店との協力関係は良好で、同信用金庫から必要な仕様が提供されたことも相まって、短期間での構築、運用開始が行えました。

CryptoAuditor は、同信用金庫の特権ユーザが行内ネットワーク上のシステムに対して行う全ての管理アクセスを監視します。またサーバーログインに使用する共用パスワードを個々の管理者、委託業者にわからないように隠ぺいすることも可能です。CryptoAuditor は、必要なログインクレデンシャルを暗号化された堅固な電子金庫に保管します。これにより共有アカウントの安全な利用を可能とし、重要なコンピュータリソースへの特権リモート・アクセスのリスクを劇的に削減します。CryptoAuditor を利用することで、ある時間帯に特定の管理者アカウントに誰がアクセスしているかを常時把握することができます。また CryptoAuditor は、管理者のセッションに検索用のインデックスを付け、動画として記録するため後から容易に確認することができます。

CryptoAuditor は、真のネットワーク・ベースのソリューションです。管理者のワークステーションやサーバに追加でエージェントやクライアントソフトウェアをインストールする必要はありません。今回の構築により以下の各項目でセキュリティ・レベルが大きく向上しました。

- 証跡を記録することで、委託企業を含む特権ユーザによる RDP セッションをコントロール
- 共有特権アカウントの本当のクレデンシャルを開示する必要性を排除
- 部外者の特権アクセスをコントロールするための中央集約型の中継プロキシ機能の提供

SSH コミュニケーションズ・セキュリティ選択の理由

同信用金庫が、SSH コミュニケーションズ・セキュリティを選択した理由は以下の通りです。

- 徐々に規模を拡張することを可能とするコスト効率に優れたライセンス形態。他ソリューションと比べてもより柔軟で、少ない初期投資で展開可能。
- 現時点での要求 (VMWare プラットフォームへの展開等) 及び将来の要求 (クラウドへの対応や他の暗号プロトコルへの対応等) 双方に対する優れた拡張性をサポート。
- 国内代理店による SSH コミュニケーションズ・セキュリティ製品に関する優れたサポート及びコンサルティング サービス。

他ソリューションでは、クライアント及びサーバにソフトウェアのインストールを必要とします。この方式では、同信用金庫のシステムの展開を困難にし、更なる維持費用が必要となります。またこれは一般的にはエンド・ユーザーのトレーニングも必要とします。これらすべての要因は TCO の効率を落とす結果となります。ネットワーク・ベースのアプローチをとる CryptoAuditor は隠れたコストや業務の混乱を削減し、運用時の負担を最小限にする透過的なソリューションを提供します。

販売代理店



株式会社ディアイティ

〒135-0016 東京都江東区東陽 三丁目23番21号
プレミア東陽町ビル
Tel. 03-5634-7652 Email: info@dit.co.jp
<http://www.dit.co.jp>